

# 川西まちなか美術館を開催

2月21日から3月6日まで  
駅周辺がギャラリーに変わる  
ロゴデザインも募集

阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅周辺の店舗などがギャラリーとなる「川西まちなか美術館」。2月21日(日)から3月6日(日)まで開催します。

まちとアートが一体となる同美術館では、作品を通して「まち」や「ひと」にふれあうことができます。

市内の幼児・小学生による壁画「川西ウォールアート」や、作家がその場で作品を作る「ライブペイント」、各展示会場の作品を鑑賞しながらまち散策をする「まち歩きツアー」などを実施します。また、次回開催時から使用するタイトルロゴを募集しています。募集するタイトル名は、「第( )回 まちとひとを彩るアート川西まちなか美術館」。2月10日(水)までに、デジタルデータか手書きのものを中心市街地活性化協議会へ。提出方法など詳しくは同協議会へお問い合わせください。

採用作品は21日のオープニングセレモニーで発表・表彰を行います。さらに賞金1万円と川西の特産品を進呈します。



- 川西ウォールアート  
2月28日(日)午前10時—午後3時。阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅東側、同電鉄高架北側道路沿い。
- ライブペイント  
2月28日(日)午後1時—2時、3時—4時。アステ川西びいぶう広場、ペルフローラかわにしWEST、モザイクボックス。
- まち歩きツアー  
2月27日(土)・28日(日)午後1時から。アステ川西びいぶう広場集合。

問合せ 市中心市街地活性化協議会 Tel (744)7112

# 懐古行列の出演者を募集

あなたも源氏まつりの主役に  
若武者や観光プリンセスなど

4月10日(日)に多田神社周辺で開かれる、「源氏まつり懐古行列」の参加者を募集します。希望者は、ハガキかファクス、市ホームページの申し込みフォームに役名(川西観光プリンセスは3役のどれかを明記)、住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、身長、職業(学校名・学年)、電話番号、携帯番号を書き、2月29日(月)(消印有効)までに〒666-8501・文化・観光・スポーツ課(市観光協会事務局)へ。

**若武者・観光プリンセス**  
選考会は3月12日(土)午後1時から多田神社で実施。欠席の場合は辞退とみなします。源氏まつり当日は、時代衣装で関連行事や約2・7キロを練り歩く(若武者と巴御前は乗馬)懐古行列に参加してもらいます。

**若武者** 平成7年4月2日〜8年4月1日生まれで、市内在住の男性。源氏まつりの八幡太郎義家役を1人。3万円分の商品券を進呈

**川西観光プリンセス(巴・常盤・静御前)** 3月12日(土)現在、満18〜30歳の女性で、年間を通して市や観光協会が行う観光イベントで活動でき



る人を3人。3万円分の商品券と副賞を進呈

**弁慶・牛若丸など**  
定員超過の場合は抽選。

**弁慶・牛若丸** 4月10日現在で小学生の児童と父親のペア1組。参加料は1万円

**美女丸・幸寿丸** 4月10日現在で小学生の児童を各1人

**稚児・一般武者**  
応募は2月4日(木)から費用持参で市役所2階の同課(同事務局)へ。

**稚児** 4月10日現在で5〜8歳の児童を50人程度。参加料は6000円

**一般武者** 4月10日現在で18歳以上の男性を若干名。参加料は3万円

## 桜提灯を飾りませんか

「源氏まつり懐古行列」の沿道を飾る桜提灯の協賛を募集しています。費用は、過去に提灯を作り、所有している人は1個1,000円、新規で作る人は1個2,000円。名前を入れて、祭り前の約2週間点灯します。希望者は費用を持参の上、2月22日(月)までに同課へ。

問合せ 文化・観光・スポーツ課(市観光協会事務局) Tel (740)1161 Fax (740)1187

## 未来を漢字で(感じる)一文字

「明」の字に決定  
揮毫された書は市役所1階に掲示

12月に募集した「2015年を振り返り、そこから連想される2016年へつなぐ漢字一文字」。合計213点の応募があり、選考の結果、「明」が選ばれました。

この漢字には「川西市には明るい笑顔、声、雰囲気があふれています。明日も、明後日も明るい笑顔があふれ続けてほしい」という思いが込められています。

1月13日に、川西市出身で4月から新加入選手としてガンバ大阪に入団が内定している、関西学院大学サッカー部4年の呉屋大翔さんが一般公開で揮毫。

また、1月20日には優秀賞に選ばれた県立川西北陵高校2年生の久保菜奈さんに、市長から記念品が贈られました。



問合せ 行政経営室 Tel (740)1120

## 毎年恒例

## 郷土館ひな人形展

2月2日から4月3日まで開催  
期間中には企画展示も

2月2日(火)から4月3日(日)まで、大正期に作られた、吹き抜けの源氏枳を持つ珍しい内裏びなや、昭和のひな飾り(写実的な顔や金糸・色糸などの刺しゅうが施された装束が特徴の古今びな)、手に桜の枝を持ち優雅に舞う元禄花飾り人形、市松人形などを展示します。

今年は大正期の軍服人形と大砲を配した武者人形を新たに展示。

また、企画展示として期間内の2月2日から14日(日)までは、子どもの健やかな成長を願って飾る「吊るし雛さるばば展」を、2月2日から3月13日(日)までは「レトロなマッチコレクション展」を行います。



問合せ 郷土館 Tel (794)3354